

競技会の準備(陸上システムデータの作成手順)

I. CSVデータの作成

競技会の基礎となる陸上システム用データを作成します。
陸上システムに必要なデータは以下の通りです。

- MASTER系** 選手の氏名や出場種目・記録などの項目で構成されます。
- 混成競技系** 混成競技個々の種目の資格記録・組レーン指定情報などの項目で構成されます。
- SYOZOKU系** 所属団体の正式名称、略称、団体コードなどで構成されます。
- リレーマスター系** リレー競技に出場するチームの情報、エントリー選手の情報などで構成されます。
リレー競技ごとに必要となります。

これらの各ファイルは、CSV形式（データをカンマ「,」で区切って並べたテキストファイル）で作成し、陸上システムにインポート（取り込み）します。

※CSVファイルは、ExcelやLotus123、dBASE、KIRI、三四郎などから保存形式を「CSV」形式として保存することで簡単に作成することができます。

※従来の弊社システムで使用していた「固定長テキスト」形式でもインポートすることができます。
ここではCSVデータの形式と作成上の注意事項について説明します。

CSVファイルの形式説明

先頭の1レコードを以下の決められたデータIDでセットすることで、陸上システムはその項目が何の項目かを自動的に判断します。（必ずしもこのIDを使用しなければならないというわけではありません。）

【MASTER系】

* ID	項目名	有効桁	説明
* DB	D Bコード	9桁	9桁の任意のコード（ <u>重複不可</u> ）
* N1	氏名1（漢字氏名）	30桁以内	けの電光掲示盤を使用する際は全角文字は不可
* N2	氏名2（フリガナ/英）	30桁以内	けの電光掲示盤を使用する際は全角文字は不可
* SX	性別コード	1桁	男子「1」、女子「2」
* KC	都道府県コード	2桁	個定情報の「12所属県情報 学連など」を参照
* MC	所属団体コード	6桁	6桁の任意のコード（SYOZOKU系の「DB」と一致）
TL	身長	5桁（ZZZ.Z）	単位はcm
WT	体重	5桁（ZZZ.Z）	単位はkg
ZK	ナンバー	5桁以内	選手のナンバーカード、「-」ハイフンは不可
S1	出場種目1	18桁以内	以下の解説を参照
S2	出場種目2	18桁以内	最大4種目まで登録可能
S3	出場種目3	18桁以内	
S4	出場種目4	18桁以内	
K1	S1に対する組・レーン/オーダー情報	3桁	K1~4については以下の解説を参照
K2	S2に対する組・レーン/オーダー情報	3桁	組・レーン/オーダー順をあらかじめ指定可能
K3	S3に対する組・レーン/オーダー情報	3桁	この機能を使用する場合は番組編成の際「自動番組」にチェックをつける
K4	S4に対する組・レーン/オーダー情報	3桁	
X1	S1に対するオープン・規格外・補欠情報	文字列	X1~4については以下の解説を参照
X2	S2に対するオープン・規格外・補欠情報	文字列	オープン参加なら「OPN」
X3	S3に対するオープン・規格外・補欠情報	文字列	規格外記録なら「*」
X4	S4に対するオープン・規格外・補欠情報	文字列	補欠参加なら「HOK」と登録する

*は必須項目。

男女混合リレーに出場する選手の性別コード

4×400m男女混合リレーなどの男女混合リレー種目に出場する選手の性別コードは、種目が男女混合だからといって性別コードを「0」とせず、選手本人の性別のコード（男子なら1、女子なら2）を登録してください。リレーエントリーからは男子でも女子でも呼び出し登録することができます。



★S1～S4（出場種目）18桁以内の内訳

123456789012345678

SSSKK h m m s s x x k r r Y Y ←競走種目の場合 例：「00200 0001123 05」…100m 11秒23
 SSSKK m m m c c k r r Y Y ←フィールド種目の場合 例：「07100 00132 04」…走高跳 1m32
 SSSKK p p p p p k r r Y Y ←混成競技の場合 例：「20100 07152 05」…十種競技 7152点

【記号の意味】

SSS 種目コード3桁（混成競技は総合のみ）、種目マスターに登録されているコード
 KK 種別コード2桁（競技者区分1（1桁）+競技者区分2（1桁））
 h m m s s x x 記録7桁（時、分、分、秒、秒、1/10、1/100）
 m m m c c 記録5桁（前3桁は「メートル」、後2桁は「センチメートル」の位）
 p p p p p 混成競技総合得点5桁（個々の種目の記録は「混成競技系」を参照）
 (k 組情報1桁（あらかじめ組を指定したいときに使用）前頁表参照）
 (r r レン/オーダー情報2桁（あらかじめレン/オーダーを指定したいときに使用）前頁参照）
 Y Y 記録の樹立年度2桁

※競走種目の14桁目以降、フィールド・混成競技の12桁目以降の組情報1桁、レン/オーダー情報2桁
 記録の樹立年度2桁は省略することができます。

※記録がない場合は、競技コード（種目コード3桁+種別コード2桁）のみでもかまいません。

★種目コード（一部《マスターメンテナンス》の《種目マスター》で確認できる）

「VII. 資料」の種目コードを参照して下さい。

★K1～K4（出場種目に対する組・レン/オーダー情報）3桁の内訳

123

k r r 例：1組1レンを指定する場合→「101」、11組5レンを指定する場合→「B05」

【記号の意味】

k 組情報1桁。最大61組まで指定可能。組に対応した値を設定する（組と設定値対応表参照）。

組と設定値 注) 決勝のみの場合は「1」を入力して下さい。

組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
組	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
値	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	a	b	c	d	e	f	g
組	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61		
値	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z		

r r レン/オーダー情報2桁。01～99レン/オーダーまで指定可能。省略した場合レン/オーダーは抽選される。

★X1～X4（出場種目ごとのオープン、規格外記録、補欠参加）文字列について

①種目ごとのオープン参加

「OPN」 エントリー段階からオープン参加が判明している場合に、あらかじめ選手の出場する競技にオープン記号を登録することで記録入力時にコメントで「OPN」登録する手間を省き、プロ原稿等スタートリスト段階にもOPN記号を表示することができます。

②規格外の記録に*記号をつけ、番組時に記録を考慮しない

「*」 資格記録が当該出場種目のものではない場合や規格違いの場合に規格外記録を設定しておくことで、番組編成時に記録なしとして扱い、版下などの印字には「*」と注釈をつけて印刷することができます。

③補欠選手登録

「HOK」 補欠選手として登録しておくことで通常番編では扱われませんが、大会直前に番編画面で入替を実施することができます。

●生年や学年を付けたい場合

生年や学年は「N1（氏名1・漢字氏名）」の後に「(80)」や「(1)」と入力して下さい。

この時、カッコは半角で入力して下さい。

例1：新岡 慶介(80) 例2：新岡 慶介(1)



●Excelを使用して作成する場合の例

Excelなど表計算ソフトでデータを作成してCSV形式のファイルを作成する場合、2通りのデータ形式があります。

A) 選手重複なし型 (従来式)

以下の図の通り、選手に重複がなく、一個人が複数種目出場する場合はS1、S2、S3、S4と横に並べて入力していく形式です。最大S4(4種目)まで登録が可能です。DBコードに重複があってはけません。

先頭のセルに「項目ID」を付ける

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	DB	N1	N2	SX	KC	MC	7K	S1	S2
2	790928229	新岡 慶介(3)	ニイカ ケイタ	1	01	013390	101	09200 05208	05
3	791122012	宇野 裕也(3)	ウノ ユウ	1	01	013553	102	00200 0001123	04 00300 0002241 04
4	790611024	有山 隆(3)	アリヤマ タカシ	1	01	013553	103		
5	800101034	吉野 悟(2)	ヨシノ サトル	1	01	013553	104		
6	810716123	奥山 健一郎(1)	オクヤマ ケンイチロウ	1	01	013553	105	20100 06704	0
7	820303234	佐藤 直子(1)	サトウ ナホ	2	01	013553	101	00200 0001432	0

男女混在したデータでよい。

Excelでは先頭に「0」が付くと数値として認識され「0」が消えてしまうので「文字列」書式で入力。

リレーに出場する選手の種目欄「S1」「S2」には何も登録しない。

B) 選手重複型 (2007年からの新方式)

この方式は、1レコード(1行)につき1種目を登録し、複数種目出場する場合は同一DBコードのデータをさらに登録する方式です。DBコードが同じであれば同一人と判断し、すでに種目登録があれば2種目目と自動的に判断することができます。この方式では最大10種目まで登録することができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	DB	N1	N2	SX	KC	MC	7K	S1
2	125000029	千葉 亮太	チバ リョウタ	1	27	272002	29	00600 0015713
3	125000029	千葉 亮太	チバ リョウタ	1	27	272002	29	00800 0000000
4	125000029	千葉 亮太	チバ リョウタ	1	27	272002	29	01111
5	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	00600 0015785
6	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	08901 06071
7	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	00200 0001056
8	125000029	千葉 亮太	チバ リョウタ	1	27	272002	29	00200 0001062

この例の場合、千葉選手は1種目目：800m、2種目目：1500m、3種目目：オープン5000m、さらに4種目目：100mに出場することになります。上図のように、競技者は行が連続してなくても、DBコードが同一であれば同競技者と判断し、種目を追加することができます。

■ CSV形式保存の方法 ■

Excelの画面左上にある〔ファイル〕メニューから〔名前を付けて保存〕を選択し、〔ファイルの種類〕のプルダウン(▼)から「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」を選び任意のファイル名を付けて保存します。

他の表計算ソフトもほぼ同様の操作でCSV形式保存ができます。



I. CSVデータの作成

保存したCSVファイルを「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

A) 選手重複なし型 (従来型)

```
DB, N1, N2, SX, KC, MC, ZK, S1, S2
790928229, 新岡 慶介 (3), ニイカ ケイスケ, 1, 01, 013390, 101, 09200 05208 05,
791122012, 宇野 裕也 (3), ウノ ユウヤ, 1, 01, 013553, 102, 00200 0001123 04, 00300 0002241 04
790611024, 有山 隆 (3), アリヤマ タカシ, 1, 01, 013553, 103, ,
800101034, 吉野 悟 (2), ヨシノ サトル, 1, 01, 013553, 104, ,
810716123, 奥山 健一郎 (1), オクヤマ ケンイチロウ, 1, 01, 013553, 105, 20100 06704 05,
820303234, 佐藤 直子 (1), サトウ ナオコ, 2, 01, 013553, 101, 00200 0001432 05,
```

B) 選手重複型

```
DB, N1, N2, SX, KC, MC, ZK, S1
790928229, 新岡 慶介 (3), ニイカ ケイスケ, 1, 01, 013390, 101, 09200 05208 05
791122012, 宇野 裕也 (3), ウノ ユウヤ, 1, 01, 013553, 102, 00200 0001123 04
791122012, 宇野 裕也 (3), ウノ ユウヤ, 1, 01, 013553, 102, 00300 0002241 04
790611024, 有山 隆 (3), アリヤマ タカシ, 1, 01, 013553, 103, ,
800101034, 吉野 悟 (2), ヨシノ サトル, 1, 01, 013553, 104, ,
810716123, 奥山 健一郎 (1), オクヤマ ケンイチロウ, 1, 01, 013553, 105, 20100 06704 05
820303234, 佐藤 直子 (1), サトウ ナオコ, 2, 01, 013553, 101, 00200 0001432 05
820303234, 佐藤 直子 (1), サトウ ナオコ, 2, 01, 013553, 101, 00300 0002452 05
```

「宇野」選手、「佐藤」選手は2種目出場として陸上システムに読み込まれます。

同様に、Lotus123やdBASE、桐などで保存すると、以下のような「””」がつきます。

```
DB, N1, N2, SX, KC, MC, ZK, S1, S2
790928229, "新岡 慶介 (3)", "ニイカ ケイスケ", 1, "01", "013390", 101, "09200 05208 05"
791122012, "宇野 裕也 (3)", "ウノ ユウヤ", 1, "01", "013553", 102, "00200 0001123 04", "00300 0002241 04"
790611024, "有山 隆 (3)", "アリヤマ タカシ", 1, "01", "013553", 103
800101034, "吉野 悟 (2)", "ヨシノ サトル", 1, "01", "013553", 104
810716123, "奥山 健一郎 (1)", "オクヤマ ケンイチロウ", 1, "01", "013553", 105, "20100 06704 05"
820303234, "佐藤 直子 (1)", "サトウ ナオコ", 2, "01", "013553", 101, "00200 0001432 05"
```

組・レーン/オーダーを指定した場合は以下のようなデータになります。

```
DB, N1, N2, SX, KC, MC, ZK, S1, K1, S2, K2
790928229, 新岡 慶介 (3), ニイカ ケイスケ, 1, 01, 013390, 101, 09200 05208 05, 108,
791122012, 宇野 裕也 (3), ウノ ユウヤ, 1, 01, 013553, 102, 00200 0001123 04, 103, 00300 0002241 04, 306,
790611024, 有山 隆 (3), アリヤマ タカシ, 1, 01, 013553, 103, ,
800101034, 吉野 悟 (2), ヨシノ サトル, 1, 01, 013553, 104, ,
810716123, 奥山 健一郎 (1), オクヤマ ケンイチロウ, 1, 01, 013553, 105, 20100 06704 05, 002,
820303234, 佐藤 直子 (1), サトウ ナオコ, 2, 01, 013553, 101, 00200 0001432 05, A01,
```



〔混成競技系〕

* ID 項目名	有効桁	説明
* DB…D Bコード	9桁	混成競技に出場している選手の9桁のDBコード 競技者マスターのDBコードと一致
* KY…出場する混成競技の競技コード	9桁	先頭から3桁=種目コード、次の3桁は空欄（半角スペース）、7桁目=性別コード、8,9桁目=種別コード。男子十種=201 100、女子七種=202 200。

- C1…1種目目の資格記録
- C2…2種目目の資格記録
- C3…3種目目の資格記録
- C4…4種目目の資格記録
- C5…5種目目の資格記録
- C6…6種目目の資格記録
- C7…7種目目の資格記録
- C8…8種目目の資格記録
- C9…9種目目の資格記録
- C0…10種目目の資格記録

記録の形式

トラック競技…7桁 11秒23 = 0001123
 フィールド競技…5桁 1m23 = 00123、11m23 = 01123
 ※記録の先頭が0となってしまうため、表計算ソフトでは数値と認識されてしまい0が消えてしまうことがありますので、0消え防止のために記録の先頭に半角大文字の英字「R」をつけても読み込むことができます。
 R0001123、R00123、R01123など

- K1…C1に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K2…C2に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K3…C3に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K4…C4に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K5…C5に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K6…C6に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K7…C7に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K8…C8に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K9…C9に対する組・レーン/オーダー情報 3桁
- K0…C0に対する組・レーン/オーダー情報 3桁

以下の解説を参照
 組・レーン/オーダー順をあらかじめ指定可能
 この機能を使用する場合は番組編成の際「自動番組」にチェックをつける。

*は必須項目。その他は任意項目（設定したいところだけでもよい）。

★K1～K0（混成競技個々の種目に対する組・レーン/オーダー情報）3桁の内訳

123

krr 例：1組1レーンを指定する場合→「101」、11組5レーンを指定する場合→「B05」

【記号の意味】

k 組情報1桁。最大61組まで指定可能。組に対応した値を設定する（組と設定値対応表参照）。

組と設定値 注) 決勝のみの場合は「1」を入力して下さい。

組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
値	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
組	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
値	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	a	b	c	d	e	f	g
組	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61		
値	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z		

rr レーン/オーダー情報2桁。01～99レーン/オーダーまで指定可能。省略した場合レーン/オーダーは抽選される。

●Excelを使用して作成する場合の例

先頭のセルに「項目ID」を付ける

ID	KY	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C0	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K0	
889406901	201	100	R0001186	R00680	R00919	R00180	R0005207	R0001508	R02820	R00400	R04346	R009537	102	101	101	209	102	307	101	101	119	101
910628901	201	100	R0001127	R00662	R01148	R00160	R0005017	R0001720	R02927	R00380	R05736	R004458	103	102	102	208	103	306	102	102	118	102
910113901	201	100	R0001099	R00680	R01207	R00190	R0005150	R0001519	R03331	R00400	R05026	R004571	104	103	103	207	104	305	103	103	117	103
910115901	201	100	R0001106	R00737	R01003	R00195	R0005052	R0001466	R03159	R00380	R05439	R005111	105	104	104	206	105	304	104	104	116	104
900818901	201	100	R0001129	R00700	R01141	R00175	R0005016	R0001523	R02764	R00400	R05506	R004320	106	105	105	205	106	303	105	105	115	105
900822901	201	100	R0001111	R00676	R01161	R00180	R0005174	R0001492	R03498	R00430	R05228	R004300	107	106	106	204	107	302	106	106	114	106
910909903	201	100	R0001105	R00679	R00984	R00185	R0004992	R0001476	R03317	R00400	R05226	R004287	108	107	107	203	108	207	107	107	113	107
920902902	201	100	R0001122	R00695	R00997	R00199	R0005011	R0001603	R03322	R00380	R05051	R004304	202	108	108	202	202	206	108	108	112	108
920430902	201	100	R0001125	R00671	R01161	R00190	R0004983	R0001447	R03492	R00380	R05484	R004381	203	109	109	201	203	205	109	109	111	109
910924902	201	100	R0001101	R00686	R01075	R00191	R0004993	R0001561	R03586	R00420	R04853	R004411	204									
					R01007	R00165	R0004850	R0001489	R03171	R00430	R04654	R004288	205									
					1115	R00180	R0005167	R0001516	R03323	R00470	R05110	R004530	206									
					9995	R00190	R0005188	R0001579	R03210	R00380	R05528	R005165	207									
					1194	R00203	R0004717	R0001411	R03261	R00420	R05005	R004149	302									
					1242	R00199	R0005036	R0001484	R03344	R00430	R04908	R004419	303	205	115	105	303	106	115	205	105	115
					1057	R00185	R0005017	R0001571	R03294	R00460	R05156	R004420	304	206	116	104	304	105	116	206	104	116
920604902	201	100	R0001103	R00704	R01055	R00185	R0005000	R0001438	R03285	R00380	R05000	R004305	305	207	117	103	305	104	117	207	103	117
921203902	201	100	R0001146	R00704	R00984	R00195							306	208	118	102	306	103	118	208	102	118
900928904	201	100	R0001176	R00676	R00983	R00195							307	209	119	101	307	102	119	209	101	119
900520901	202	200	R0001455	R00160	R00923	R0002							102	101	101	102	212	124	101			
900720901	202	200	R0001499	R00163	R00929	R0002							103	102	102	103	211	123	102			
910614901	202	200	R0001553	R00159	R01141	R0002773							104	103	103	104	210	122	103			
911212901	202	200	R0001491	R00161	R01060	R0002645	R00523	R03835	R002376				105	104	104	105	209	121	104			

実施するすべての混成競技の競技をまとめて登録してよい。男女混在したデータでよい。

K1～K0は組・レーン指定番組を実施したい場合のみ登録する。

Excelでは先頭に「0」が付くと数値として認識され「0」が消えてしまうので先頭に「R」をつけて入力してもよい。



I. CSVデータの作成

[SYOZOKU系]

SYOZOKU系は、出場する選手の所属団体情報を登録しておくものです。
MASTER系とは6桁の所属団体コードで繋がっています。

* ID 項目名	有効桁	説明
* DB…所属団体コード	6桁	6桁の任意のコード（重複不可） MASTER系の「MC」と同じ
N1…所属名1（か名称）	30桁以内	半角カタカナ若しくは半角英数字 国際大会では国名のスリーレターを全角で入力
* N2…所属名2（正式名称）	30桁以内	
* N3…所属名3（略称）	20桁以内	陸連の規定では最大全角7文字
* KC…都道府県コード	2桁	個定情報の「12所属県情報 学連など」を参照 所属する都道府県のコードまたは49（学連）

- Excelを使用して作成する場合の例
先頭のセルに項目IDを付ける。

	A	B	C	D	E
1	DB	N1	N2	N3	KC
2	013390	キタミヨクリョウコウ	北見緑稜高等学校	北見緑稜高	01
3	013553	ブシュウカンコウ	武修館高等学校	武修館高	01
4	013555	ホクリコウ	北嶺高等学校	北嶺高	01
5	013557	アサヒカワメイコウ	旭川明星高等学校	旭川明星高	01

CSV形式保存の方法はMASTER系と同様。

CSV形式で保存し、「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

```
DB, N1, N2, N3, KC
013390, キタミヨクリョウコウ, 北見緑稜高等学校, 北見緑稜高, 01
013553, ブシュウカンコウ, 武修館高等学校, 武修館高, 01
013555, ホクリコウ, 北嶺高等学校, 北嶺高, 01
013557, アサヒカワメイコウ, 旭川明星高等学校, 旭川明星高, 01
```

同様に、Lotus123やdBASE、桐などで保存すると、以下のような「"」がつきます。

```
"DB", "N1", "N2", "N3", "KC"
"013390", "キタミヨクリョウコウ", "北見緑稜高等学校", "北見緑稜高", "01"
"013553", "ブシュウカンコウ", "武修館高等学校", "武修館高", "01"
"013555", "ホクリコウ", "北嶺高等学校", "北嶺高", "01"
"013557", "アサヒカワメイコウ", "旭川明星高等学校", "旭川明星高", "01"
```



【リレーマスター系】

リレーに関する出場者の情報は個人種目とは異なる方法で陸上システムにインポートします。
リレーは種目ごとにファイルを作成します。

例) 男女4×100mと4×400mがある場合、4種類のCSVファイルが必要
m400r.csv/m1600r.csv/w400r.csv/w1600r.csvなど

MASTER系とは選手個人の9桁のDBコードで繋がっています。

MASTER系の「DB」=リレーマスター系の「S1」～「S6」

* ID	項目名	有効桁	説明
* DB	チームコード	2～6桁	任意のコード ※注
ZK	チームナンバー	5桁以内	チームにナンバーがある場合のみ使用
* N1	チーム名1 (漢字)	30桁以内	「A」、「B」チームなどの区別はここに入力
N2	チーム名2 (フリガナ/英)	30桁以内	カタカナ半角若しくは半角英数字
TM	資格記録	5桁	分, 秒, 秒, 1/10, 1/100
KM	自動番組時の指定組	1～2桁	自動番組を使用する際に配置したい組の数字
LN	自動番組時の指定レーン	1～2桁	自動番組を使用する際に配置したいレーンの数字
* S1	競技者DB 1	9桁	選手1人目 (MASTER系DBコード)
* S2	競技者DB 2	9桁	選手2人目 (MASTER系DBコード)
* S3	競技者DB 3	9桁	選手3人目 (MASTER系DBコード)
* S4	競技者DB 4	9桁	選手4人目 (MASTER系DBコード)
S5	競技者DB 5	9桁	選手5人目 (MASTER系DBコード)
S6	競技者DB 6	9桁	選手6人目 (MASTER系DBコード)

*は必須項目

※注意事項

- ・対抗得点を集計する競技会の場合、SYOZOKU系マスターファイルの「DB」とリレーマスター系の「DB」に必ず同一のコードを使用してください。使用しなかった場合、リレー競技の得点集計ができません。
- ・自動番組とは、あらかじめ決められた組・レーンに配置する番組編成機能のことで、資格記録等によりランダムまたは記録順に配置したい場合には自動番組機能は使用しません。

●Excelを使用して作成する場合の例

Excelなど表計算ソフトでデータを作成してCSV形式のファイルを作成する場合、2通りのデータ形式があります。

A) 横形式 (従来式)

登録する選手のDBをS1, S2, S3, S4, S5, S6のIDで横に並べる方式です。
先頭のセルに項目IDを付ける。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	DB	N1	N2	TM	S1	S2	S3	S4	S5	S6
2	013390	北見緑稜高	キタリョクヨウコウ	04071	800330008	800807009	790826010	801223011	800506012	810421013
3	013553	武修館高	ブシュウカンコウ	04360	791122012	790611024	800101034	800203092	800503093	801206094
4	013555	北嶺高	ホクレイコウ	00000	791025088	800824098	790805111	810815121	810304046	
5	013557	旭川明星高	アサヒカメイセイコウ	04136	791108012	800513024	810516035	810710092	810629057	800422061

所属コードと同一にするとわかりやすい。 選手のDBコード。

B) 縦形式 (2007年からの新方式)

選手のDBをチーム情報を登録した行の次の行から縦に並べる方式です。

	A	B	C	D	E
1	DB	ZK	N1	N2	TM
2	281009		三友電気	ミツモトンキ	4192
3	128000604				
4	128000605				
5	128000606				
6	128000607				
7	128000608				
8	128000609				
9	272010		近畿外大	キンキガイダイ	4231
10	129000816				
11	129000817				
12	129000818				
13	129000819				
14	129000820				

←「DB」欄に2桁もしくは6桁の数字が入力されている行は、チームの名称、タイムなどの情報と認識し、9桁の数字が入力されている場合は競技者のDBコードと認識します。
読み込まれる順番は、上から1人目、2人目の順です。



I. CSVデータの作成

→また拡張版として、競技者のコード9桁の前のセルに9桁のコードとは別の値が入力されている場合でも、そこを読み飛ばして読み込むことができます。

A列には「281009」、B列には「DBコード9桁」が入力されている。この場合も正常に読み込むことができる。

	A	B	C	D	E
1	DB	ZK	N1	N2	TM
2	281009		三友電気	ミツモトンキ	4192
3	281009	128000604			
4	281009	128000605			
5	281009	128000606			
6	281009	128000607			
7	281009	128000608			
8	281009	128000609			
9	272010		近畿外大	キンキガイダイ	4231
10	272010	129000816			
11	272010	129000817			
12	272010	129000818			
13	272010	129000819			
14	272010	129000820			

C) 縦形式拡張版（2015年からの新方式）

DBからLNまでチームに関する情報は、同一チームなら同じ内容を列挙、S1に競技者のDBコード9桁を登録することで同一チームとして読み込む方式です。

S1以外の項目が同じならば同一チームと認識してインポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	DB	ZK	N1	N2	TM	KM	LN	S1
2	130001	チーム緑	チーム緑	04132				800101001
3	130001	チーム緑	チーム緑	04132				810312002
4	130001	チーム緑	チーム緑	04132				820322003
5	130001	チーム緑	チーム緑	04132				800707004
6	130001	チーム緑	チーム緑	04132				810501005
7	130001	チーム緑	チーム緑	04132				820811006
8	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				790202001
9	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				780802002
10	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				771212003
11	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				791109004
12	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				780404005
13	130002	SPRINTER	スプリンター	04055				770707006

CSV形式保存の方法はMASTER系と同様です。

CSV形式で保存し、「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。
注：以下の例は横形式の場合の例です。

```
DB, N1, N2, TM, S1, S2, S3, S4, S5, S6
013390, 北見緑稜高, キタシヨクリョウコウ, 04071, 800330008, 800807009, 790826010, 801223011, 800506012, 810421013
013553, 武修館高, ブシユカンコウ, 04360, 791122012, 790611024, 800101034, 800203092, 800503093, 801206094
013555, 北嶺高, ホレイコウ, 00000, 791025088, 800824098, 790805111, 810915121, 810304046,
013557, 旭川明星高, アサヒカワメイコウ, 04136, 791108012, 800513024, 810516035, 810710092, 810629057, 800422061
```

同様に、Lotus123やdBASE、桐などで保存すると、以下のような「"」がつきます。

```
DB, N1, N2, TM, S1, S2, S3, S4, S5, S6
"013390", "北見緑稜高", "キタシヨクリョウコウ", "04071", 800330008, 800807009, 790826010, 801223011, 800506012, 810421013
"013553", "武修館高", "ブシユカンコウ", "04360", 791122012, 790611024, 800101034, 800203092, 800503093, 801206094
"013555", "北嶺高", "ホレイコウ", "00000", 791025088, 800824098, 790805111, 810915121, 810304046,
"013557", "旭川明星高", "アサヒカワメイコウ", "04136", 791108012, 800513024, 810516035, 810710092, 810629057, 800422061
```



ここからは、陸上システム上での作業となります。手順は以下の通りです。

II. 大会初期設定

1. データ作成フォルダの指定とデータの消去
2. 大会初期設定 … 大会名、会場、大会種別、表示・印字方法、番組・ルールに関する設定を行います。
3. 固定情報の編集 … 競技者区分（種別）、歴代記録（大会記録など）等を編集します。
4. 実施競技の登録 … 実施競技、歴代記録を登録します。

III. CSVデータのインポート … 陸上システムに、「I」で作成したデータを取り込みます。

IV. 番組編成

V. データのバックアップ

VI. 競技会当日のデータセット

II. 大会初期設定

1. データ作成フォルダの指定とデータの消去

まず、これからデータを作成するフォルダを指定します。

ここでは、「第41回マツト陸上競技選手権大会」という大会のデータをC:¥\$\$\$に新規で作成する手順について解説します。

- 1) マイコンピュータやエクスプローラーなどで、Cドライブの\$\$\$フォルダに「MAST」「ENT」「REL」「PROG」の各フォルダが存在することを確認します。
- 2) 陸上システムメインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。

【F5】システム・メンテナンス



- 3) 《1. MKRCONF大会設定》を起動し、プリセット（▼）からデータを作成するフォルダ「単体」を選択して《呼出》ボタンをクリックし、ディレクトリ表示の内容が変わったことを確認して《設定》ボタンをクリックします。

【1】 + 【Enter】
MKRCONF大会設定

*プリセット名はコンピュータによって異なります。呼出ボタンをクリックして表示された内容が、これからデータを作成しようとしているフォルダであればOKです。



- 4) 次に、指定したフォルダにあるデータを初期化します。

システムメンテナンスメニューの中から《4. データの消去》を選択します。「全データの削除」画面が表示されます。

【4】 + 【Enter】
データの消去

「対象のフォルダ」は先ほど3)で指定したフォルダになっていることを確認してください。

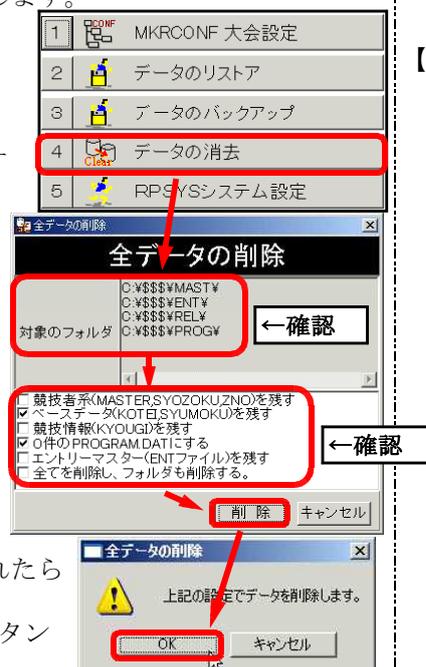
必ずチェックを付ける項目（右図の通り）

- ・ ベースデータ (KOTEI, SYUMOKU) を残す
- ・ 0件のPROGRAM.DATにする

【例外処理】

昨年同一競技会のデータをもとに今年度の競技会データを作成する場合は、「競技情報 (KYOUGI) を残す」にチェックを付けると、実施競技に変更がない限り競技情報の登録を省略することができます。

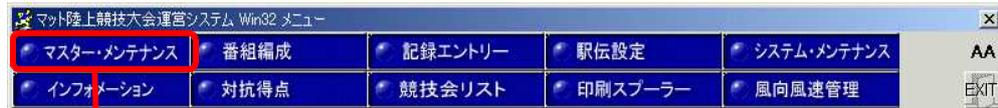
削除項目を確認し、よければ《削除》ボタンをクリックします。削除確認メッセージが表示されたら《OK》をクリックし、削除を開始します。終了後結果レポートが表示されます。《終了》ボタンで閉じてください。



II. 大会初期設定

2. 大会初期設定

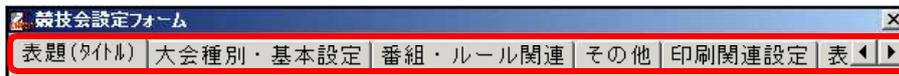
大会に関する諸情報について設定します。



- 1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。
- 2) 《6. DINST大会初期設定》を起動します。
- 3) 「競技会設定フォーム」が表示されます。上部のタブをクリックすることで、各項目に移動することができます。

【F1】マスターメンテナンス

【6】+【Enter】
大会初期設定



4) 必要箇所を設定します。

表題(タイトル)関係設定

ここに入力された項目は、スタートリスト、記録表、結果表、番組編成リストなどの各種印刷物のヘッダとして使用されます。

各項目最大76桁。

- ・大会タイトル1 - 競技会名を入力。
- ・大会タイトル2 - サブ競技会名や主催者を入力(空欄でも可)
- ・主催者、主管名、大会協賛、協力者名など - 主催者や主管陸協、特別協賛、後援など2行を自由に使用してください。
- ・会場、競技場、コース - 開催場所を入力。

大会種別・基本設定

大会の種類やナンバーカード、所属の扱い方などについて設定します。

各項目とも、選択方式。

- ・大会属性 「一般」「国際」「国体」「障害」を「▼」から選択。通常は「一般」を選択。
- ・学連の駅伝モード
棄権線上後の記録(総合成績、区間記録)を無効にします。学連の駅伝大会で使用。
- ・ナンバーカードの扱い
競技者マスターのナンバーカード更新を実行する際に、どのようにナンバーを扱うかを設定。
■シングル…競技者マスターデータの中でナンバーが男女各1名ずつしか存在しない場合にこのモードを使います。
■マルチ…同一ナンバーを最大10名まで別の競技者として扱うことができます。

※中学生の大会など、ナンバーが学校番号であるため同一番号が10件以上存在する場合があります。この場合は、ナンバーカード更新を実行しないでください。

- ・連番種別(個定情報23)使用
マスターズの競技会など通常の種別設定では不足する場合に使用します。通常はチェックを外します。
- ・所属の印刷方法 - 所属の印刷方法の選択です。例) 団体名: 東京大 県名: 兵庫の場合

県名・団体名	→ 兵庫・東京大	都道府県のみ	→ 兵庫
団体名のみ	→ 東京大	団体名・県名	→ 東京大・兵庫
- ・その他の表記
 - 結果リストに欠場者(DNS)を含めるかどうか。含めない場合にチェックを付けます。
 - 氏名の桁を短縮するかどうか。通常チェックを付け、短縮してください。
 - 所属団体名の読みがなを印刷するかどうか(トラック競技のみ)。印刷したい場合にチェックを付けます。



番組・ルール関連

番組編成などのルールに関する設定をします。

『番組編成関連』

- ・ 2次予選以降のトラック種目シード順
 - N…800mまで着順、以降は記録でシード (H14年からの国内ルール)
 - F…800mまで着順、以降はベスト記録
 - 4…400mまで着順、以降は記録でシード (H13年国内ルール)
 - B…400mまで着順、以降はベスト記録
 - Y…すべて記録でシード(H12年国内ルール)

いずれかを選択してください。

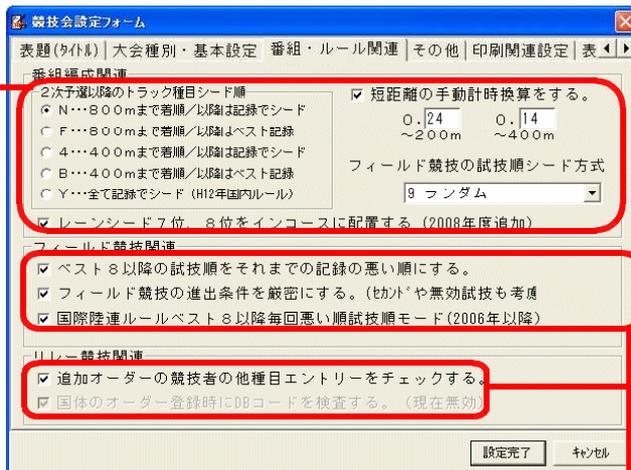
- ・ 短距離種目の手動計時記録を換算するかどうか。換算する場合はチェックを付け、その換算する値を入力します。
- ・ フィールド競技の試技順シード方式 [9 ランダム][3 後方1/3に上位を配置][4 後方1/4に上位を配置][5 後方1/5に上位を配置]から選択。
- ・ レーンシード7位8位をインコースに配置する…2008年度ルール改正対応、通常はチェックを付けます。

『フィールド競技関連』

- ・ ベスト8以降の試技順をそれまでの記録の悪い順にするかどうか。通常はチェックを付けます。
- ・ フィールド競技の進出条件厳密判定するかしないか。セカンドや無効試技を考慮して次ラウンドへの進出を判定します。通常はチェックを付けます。

『リレー競技関連』

- ・ 追加オーダーの競技者の多種目エントリーをチェックするかどうか。
- ・ 国体のオーダー登録時にDBコードを検査するかどうか。



その他

大会コードや競技場コードなどを入力します。ここに入力した項目は特におもてに出ることはありません。

- ・ **大会コード**(8桁) - 陸連の定める大会コード
- ・ **競技場コード**(6桁) - 陸連の定める競技場コード
- ・ **大会期間**(西暦)
- ・ **主管陸協コード**(2桁)
- ・ **主管陸協名**



印刷関連設定

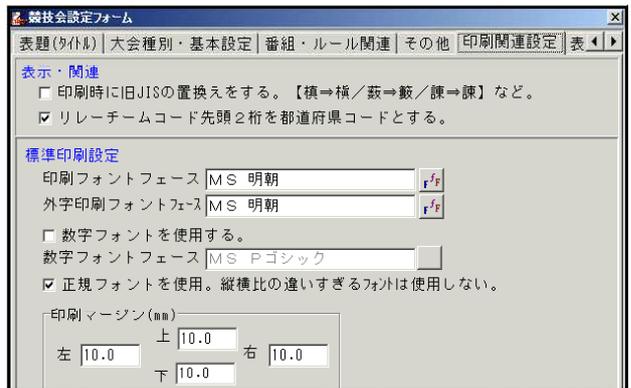
印刷や表示に関する項目の設定。

『表示・関連』

- ・ 印刷時に旧JISの置き換えをするかどうか。置き換えをする場合、チェックを付ける。
- ・ リレーチームコードの先頭2桁を都道府県コードとするかどうか。通常はチェックを付けておきます。

『標準印刷設定』

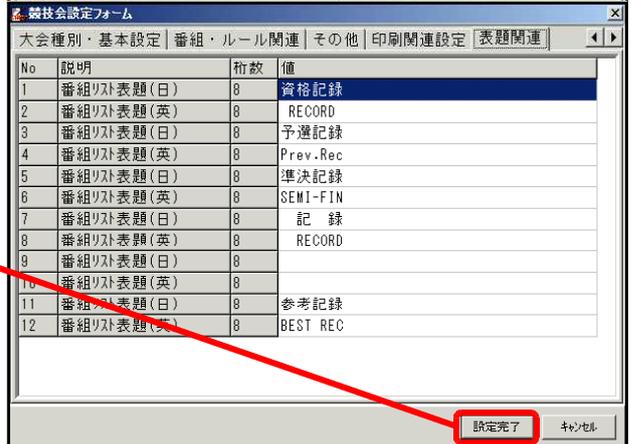
各種印刷フォントや余白の設定です。特に変更の必要はありません。



表題関連

番組編成リストで使用される記録の表題に関する設定。特に変更の必要はありません。

- 5) すべての設定が終了したら、《設定完了》ボタンをクリックし画面を閉じます。《キャンセル》をクリックした場合、設定は保存されません。

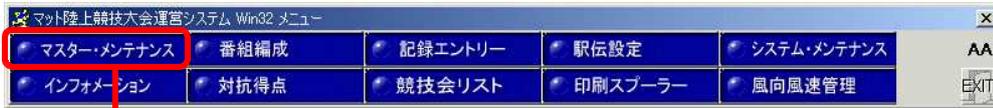


II. 大会初期設定

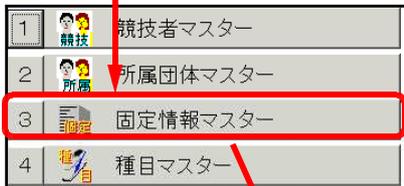
3. 個定情報の編集

大会に関する個定情報を編集します。ここでは特に「高校」「中学」「成年」「少年A」「少年B」などの競技者区分（種別）の設定と、日本記録や大会記録などの歴代記録コメントについて編集します。

その他の項目はほとんどの場合、変更の必要がありません。



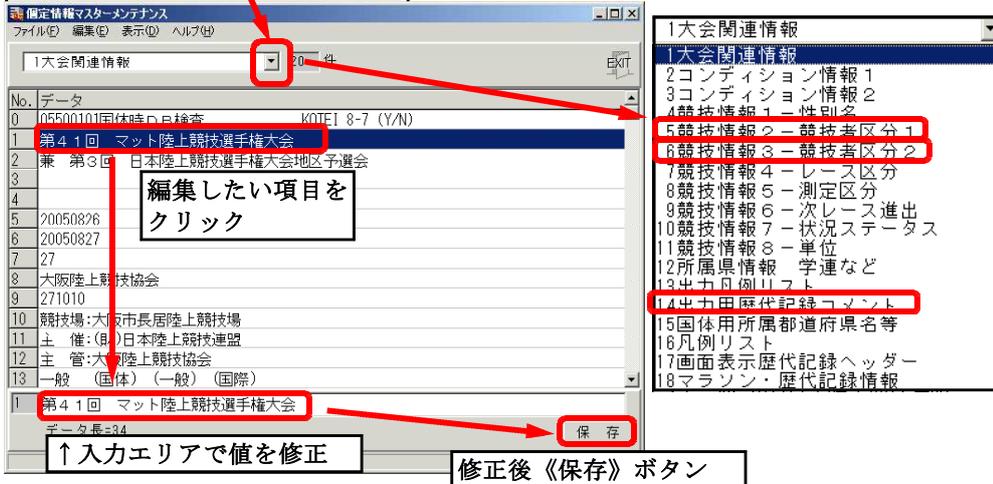
【F1】マスターメンテナンス



1) メインメニューの《マスター・メンテナンス》をクリックします。

2) 《3. 固定情報マスター》を起動します。前項で登録したDINST大会初期設定の情報「1大会関連情報」として表示されます。

【3】+【Enter】固定情報マスター



- プルダウン（▼）から修正する項目を選択します。
- 編集は、修正したいデータ行を選択し、入力エリアに値を入力して《保存》ボタンをクリックします。これで、データが更新されます。この編集操作は、個定情報マスターメンテナンス内共通です。

● 《5競技情報2－競技者区分1》、《6競技情報3－競技者区分2》「競技者区分」の設定

「競技者区分」は実施競技登録時の種別に該当し、国体では「成年」「少年A」「少年B」、一般競技会では「オープン」「一般」「高校」「中学」「小学」、学年別の競技会では「1年」「2年」「低学年」などを設定することができます。競技者区分は《競技者区分1(1桁)》と《競技者区分2(1桁)》の計2桁で構成されており、この両方を組み合わせて種別2桁を作成します。

例えば、右図のように設定したとすると、以下のような種別が考えられます。

「00」	「28」 日本選抜A
「01」 一般	「29」 日本選抜B
「02」 共通	「33」 大学・実業団
「10」 グランプリ	など...
「20」 日本選抜	

特にはじめから指定があるわけではありませんので、大会運営上都合の良い、わかりやすい種別の組み合わせを考えて設定して下さい。



大会初期設定で「連番種別（個定情報23）を使用」にチェックを付けた場合はこの種別設定ではなく、《23競技者区分名称リスト》の「00」～「99」までに登録されているデータを使用します。修正する場合は《23競技者区分名称リスト》を修正して下さい。



●《14出力用歴代記録コメント》 「歴代記録」の設定

「歴代記録」は競技会における「大会記録」や「世界記録」「日本記録」「〇〇県記録」「〇〇県高校記録」などを入力しておき、スタートリストや番組編成リスト記録表などの印刷物、レース参照時の画面参照用などに使用されます。

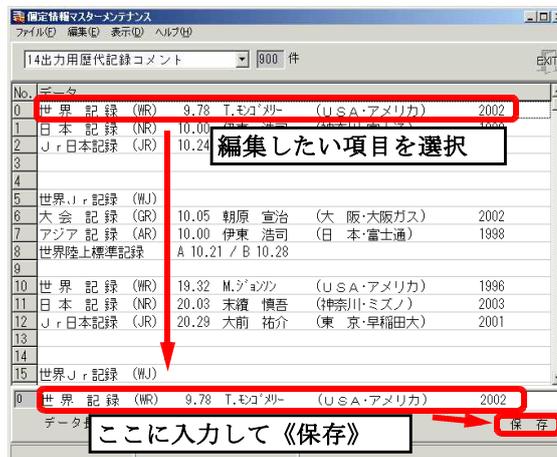
編集方法は、直接個定情報マスターメンテナンス上で編集する方法と、データをエクスポート (CSV形式に保存) してテキストエディタや表計算ソフト等で編集し、編集したデータを再度読み込む方法があります。

▼直接編集

《14出力用歴代記録コメント》を選択し、右図の選択エリアから編集したい項目を選択します。

入力エリアにその項目が表示されたら《Enter》キーを押し、内容を編集して下さい。最大76桁で、入力形式に指定はありません。

編集終了後もう一度《Enter》キーを押すまたは《保存》ボタンをクリックすると内容が登録されます。



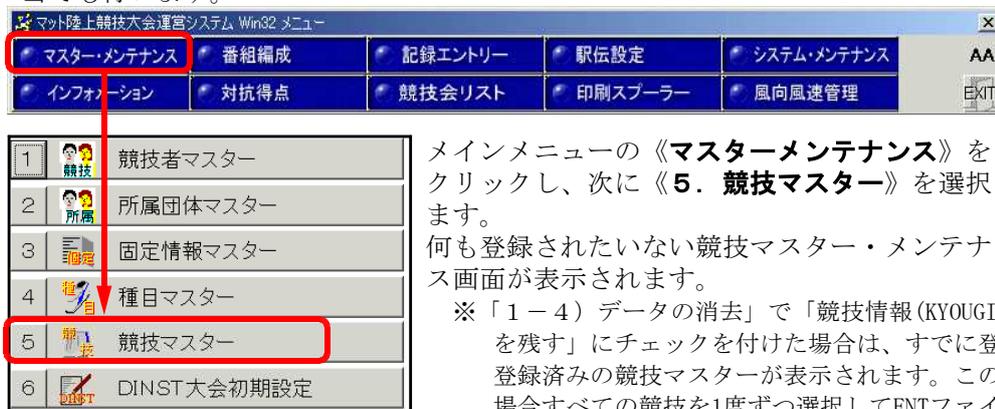
▼データをエクスポートして編集

《14出力用歴代記録コメント》を選択します。画面左上の《ファイル》メニューから《エクスポート》を選択し、ファイルの保存先を選び任意のファイル名を付けて保存します。保存されたCSV形式のファイルをテキストエディタや表計算ソフトで編集して下さい。

《ファイル》メニューから《インポート》を選択し、編集したファイルを指定して取り込みます。このとき1列目には「14」が、2列目には「0からの連番」が3桁で必ず入力されている必要があります (Excelで編集した場合は桁ずれに注意)。

4. 実施競技の登録

競技会で実施する予定の競技を全て登録します。また、競技に対して歴代記録の割当も行います。



【F1】マスターメンテナンス
【5】+【Enter】
競技マスター

競技コードについて

- 種目コード3桁 (混成競技の個々の種目は6桁) →種目マスターに登録されています。
- 性別コード1桁 →個定情報「4競技情報1-性別名」に登録されています。
- 種別コード2桁 →個定情報「5競技情報2-競技者区分1」と「6競技情報3-競技者区分2」で設定します。

この競技コードを実施する競技すべてについて登録します。

ハードル競技はハードルの高さ別に、投てき競技は使用する用具の重さ別に種目コードが用意されています。また、混成競技は3桁のコードのもの (男子十種競技なら201、女子七種競技なら202) のみを登録してください。

登録する順序に特に決まりはありませんが、100m、200m・・・の順に登録することをおすすめします。また、男子と女子が混ざらない方がわかりやすい。

●競技マスターに登録されている情報

- 競技コード9桁 [種目コード (6桁) +性別コード (1桁) +種別コード (2桁)]
- 記録表、結果表、スタートリスト、番組編成リストのヘッダー部に印刷される歴代記録の情報
- 記録入力画面や電光掲示盤に表示する日本記録や大会記録などの情報

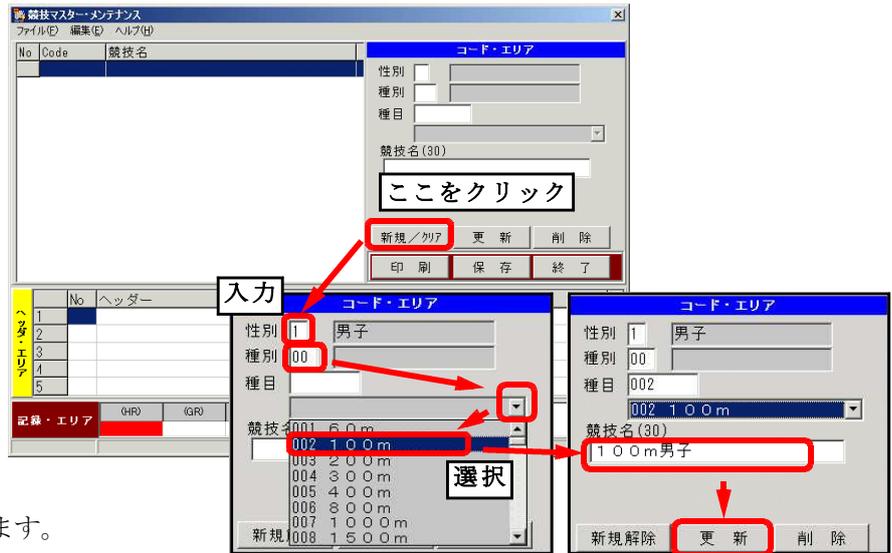


II. 大会初期設定

競技の登録を行います。

例) 男子100m(コード002 100)

- 1) 《新規/クリア》ボタンをクリックします。
- 2) 「性別」に性別コード(半角数値)を入力します。
- 3) 「種別」に種別コード(半角数値)を入力します。
- 4) 「種目」のプルダウン(▼)から、種目を選択します。「競技名」が表示されます。
- 5) 《更新》ボタンをクリックします。
- 6) 「該当するENTファイルが存在しません。作成しますか?」というメッセージが表示されたら、《はい》をクリックします。

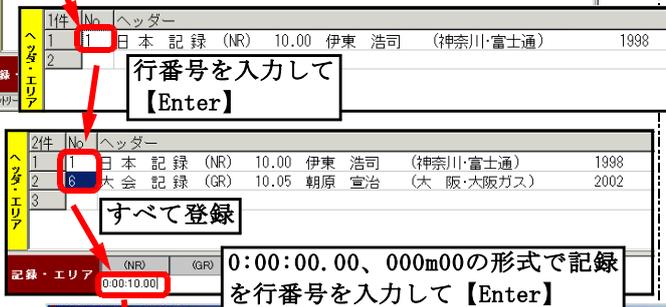


- 7) ヘッダ・エリアに歴代記録ヘッダの行番号を登録します。登録が不要な場合は次の競技へ進みます。ヘッダ・エリアの「No」欄に上から順に、個定情報「14出力用歴代記録コメント」に登録した歴代記録の行番号をここに入力します。ヘッダは最大10件まで登録することができます。歴代記録の行番号がわからない場合は、【999】を入力するとリストの検索ができます。



- 【F1】新規/クリア
- 【F1】新規解除
- 【Tab】移動
- 【Ctrl+S】更新

- 8) ヘッダエリアの登録できたら、記録・エリアに画面表示用、電光掲示用歴代記録を登録します。記録・エリアで入力したい項目をクリックし、記録を入力します。入力後【Enter】キーを押します。



- 9) 最後に、《更新》ボタンをクリックし、登録情報を更新します。

- 10) 1) ~ 9) までの作業を実施する競技の数だけ行います。

- 11) すべての競技が登録できたら《保存》ボタンをクリックし競技マスターを保存します。

- 【Ctrl+Shift+S】保存

- 12) 登録した内容が正しいかどうか、印刷して確認することをおすすめします。《印刷》ボタンをクリックすると、競技マスターの印刷ができます。

- 【Ctrl+P】印刷

- 13) すべての処理が終了したら《保存》をクリックし、《終了》をクリックするとメニュー画面に戻ります。

- 【Ctrl+F10】終了



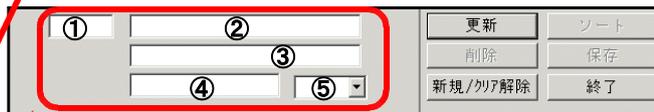
■「種目」プルダウン(▼)に登録したい種目が見つからないとき

→「種目マスター」に種目を登録します。

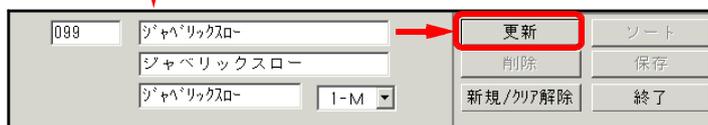
- 1) 競技マスターメンテナンス画面が表示されている場合は《保存》ボタンをクリックしてこれまでの登録内容を保存し、《終了》ボタンをクリックして競技マスターメンテナンスを終了してください。
- 2) マスターメンテナンスメニューが表示されたら、《4. 種目マスター》を選択します。種目マスターメンテナンスが起動します。
- 3) 《新規/クリア》ボタンをクリックします。データ入力欄がすべて空欄になります。



【4】 + 【Enter】
種目マスター
【Ctrl+N】
新規/クリア



各項目を入力



- 4) データ入力欄に追加する種目を入力します。
 - ①…種目コード 半角数字3桁 (混成競技の単種目のみ6桁)
 - ②…種目名カナ 半角最大30桁
 - ③…正式種目名 最大30桁
 - ④…略種目名 おもに表示や印刷に使われます。最大20桁
 - ⑤…単位 競走競技の場合「0-sec」、フィールド競技の場合「1-M」
混成競技総合得点の場合「3-pts」を選択
- 5) 入力を終わったら、《更新》ボタンをクリックします。すると、種目コード表の一番最後に追加されます。さらに、《ソート》ボタンをクリックすると、コード順に整列します。
- 6) 以上で種目の登録は終了です。《保存》ボタンをクリックした後、《終了》ボタンをクリックしてもとの競技マスターに戻ります。

【F12】更新
【F7】ソート

【Ctrl+S】保存
【Ctrl+F12】終了

■競技マスターのインポート・エクスポート

競技マスターをCSV形式で出力したり、CSV形式で作成したものを陸上システムにインポートしたりすることができます。

- 1) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート(CSV)》もしくは《エクスポート(CSV)》を選択します。ファイルの出力先・ファイルの保存してある場所を指定するウィンドウが表示されますのでインポートの場合はインポートするファイルを選択、エクスポートの場合は出力する場所を指定します。
- 2) 《開く》または《保存》ボタンをクリックすると実行されます。

【Ctrl+I】インポート
【Ctrl+E】エクスポート

★データ形式 (CSVデータのためカンマ区切り)

先頭の項目名→KC, N1, MX, T1, T2, T3, T4, T5, T6, T7, T8, T9, R1, R2, R3, R4, R5, R6, R7, R8, R9

【記号の意味】

- KC 競技コード9桁 (種目コード6桁+性別コード1桁+種別コード2桁)。
- N1 競技名 (最大30桁)。
- MX 歴代記録ヘッダ合計数 (半角1桁)。最大値は9。
- T1~T9 歴代記録コメント (個定情報「14出力用歴代記録コメント」の行番号ではなく、コメントの内容を直接インポート・エクスポートされます)。最大9件。
- R1~R9 画面表示用記録 (指定桁数の前に桁崩れ防止のため「R」を付けても可)。最大9件。
競走競技の場合6桁 (手動) or 7桁 (電計)。例) 10秒00の場合→0001000、R0001000
フィールド・混成総合得点の場合5桁。例) 65m12の場合→06512、R06512

例) KC, N1, MX, T1, R1

002, 100, 男子 1 0 0 m, 1, 大会記録(GR) 10.34 佐藤 大輔 (東京大・東京) 2002, R0001034

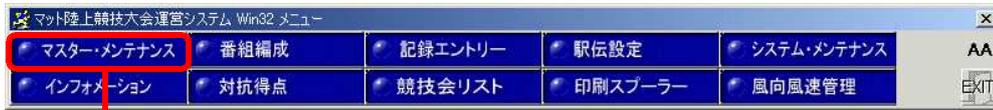


Ⅲ. CSVデータのインポート

「Ⅰ. CSVデータの作成」で作成したCSVデータを大会運営システムにインポート（データの取り込み）します。

手順としては、所属マスター、競技者マスター、リレーマスターの順に作業します。

1. 所属マスターのインポート



1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。

【F1】マスターメンテナンス

2) 《2. 所属団体マスター》を起動します。
データの入っていない所属団体マスターメンテナンス画面が表示されます。

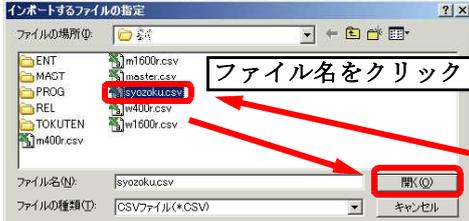
【2】+【Enter】
所属団体マスター

3) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》→《CSVファイル》を選択します。



【Ctrl+C】
CSVファイルインポート

4) インポートウィンドウが表示されたら、《インポート・ファイル選択》をクリックし、作成したSYOZOKU系マスターのファイルを選択し、《開く》をクリックします。



ファイル名をクリックして《開く》

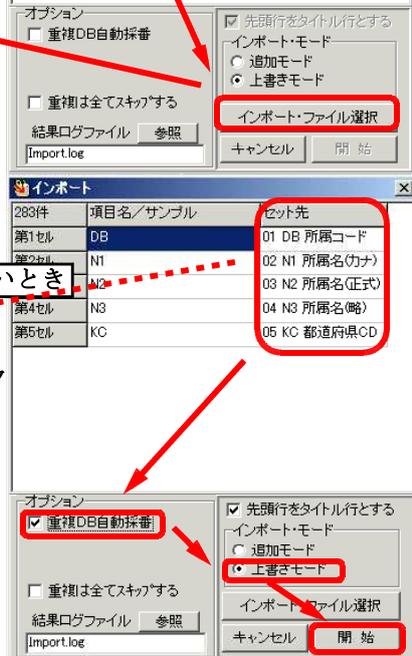
5) 所属マスターファイルの先頭行をタイトル行とした場合は、自動的に「セット先」が表示されますが、先頭行をタイトル行としなかった場合は、下図のセット位置をクリックし、手動でセットします。



自動的にセットされないとき

ここをクリック

6) オプションを設定します。
 ・重複DB自動採番 (チェックを付けます)
 DBのだぶりを自動的にチェックします。
 ・重複は全てスキップする (チェックは不要)
 DBがだぶっていた場合そのDBをスキップしてインポートします。



7) インポート・モードを設定します。
 ・追加モード すでにインポートしたデータに追加します。
 ・上書きモード 全て上書きでインポートします。(通常)
 8) 以上の設定が完了したら、《開始》ボタンをクリックします。データのインポートが開始されます。
 9) インポート終了後、インポート結果が表示されます。このとき、エラーがあった場合は結果ログファイルを参照し、エラーを修正してからもう一度上書きでインポートしてください。



自動採番、スキップエラーが「0」ではない場合は「実行ログ」を参照してもう一度CSVデータをチェック



2. 競技者マスターのインポート

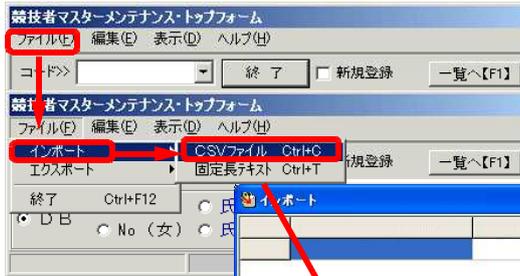


- 1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。
- 2) 《1. 競技者マスター》を起動します。
競技者マスターメンテナンスストップフォームが表示されます。

【F1】 マスターメンテナンス

【1】 + 【Enter】
競技者マスター

- 3) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》→《CSVファイル》を選択します。



【Ctrl+C】
CSVファイルインポート

- 4) インポートウィンドウが表示されたら、《インポート・ファイル選択》をクリックし、作成した競技者系マスターのファイルを選択し、《開く》をクリックします。



ファイル名をクリックして《開く》

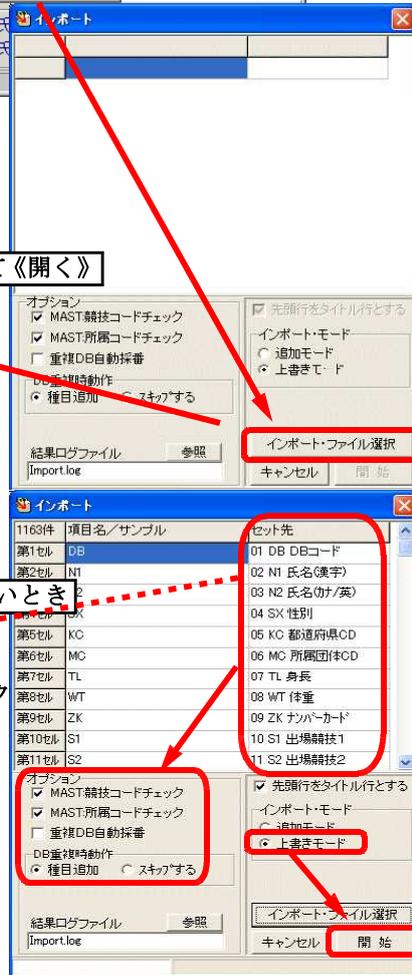
- 5) 競技者マスターファイルの先頭行をタイトル行とした場合は、自動的に「セット先」が表示されますが、先頭行をタイトル行としなかった場合は、下図のセット位置をクリックし、手でセットします。



自動的にセットされないとき

ここをクリック

- 6) オプションを設定します。
 - ・ **MAST競技コードチェック** (チェックを付ける)
競技コードに誤りがないかチェックします。
 - ・ **MAST所属コードチェック** (チェックを付ける)
所属コードに対応しているかチェックします。
 - ・ **重複DB自動採番**
競技者系マスターファイルの形式が選手重複なし型(従来型)の場合にチェックを付けるとDBのだぶりを自動的に調べます。
 - ・ **DB重複時動作**
競技者系マスターファイルの形式が選手重複型の場合に「種目追加」を選択してください。(重複DB自動採番にチェックが入っているときは選択できません。)
- 7) インポート・モードを設定します。
 - ・ **追加モード** すでにインポートしたデータに追加します。
 - ・ **上書きモード** 全て上書きでインポートします。(通常)
- 8) 《開始》ボタンをクリックするとデータのインポートが開始されます。
- 9) インポート終了後、インポート結果が表示されます。
このとき、エラーがあった場合は結果ログファイルを参照し、エラーを修正してからもう一度上書きでインポートしてください。



自動採番、スキップ
エラーが「0」ではない
場合は「実行ログ」
を参照してもう一度
CSVデータをチェック



Ⅲ. CSVデータのインポート

3. ナンバーカード更新とエントリー更新

※CSVデータをインポートした後にこの作業を行います。

ナンバーカード更新 → ナンバーカードで競技者を検索することができるようになります。

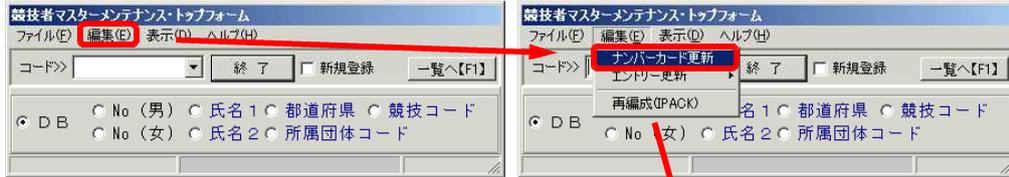
エントリー更新 → インポートした競技者を競技ごとに陸上システムのエントリーデータファイルに書き込みます。

この作業を忘れると番組編成で選手が0名になります。

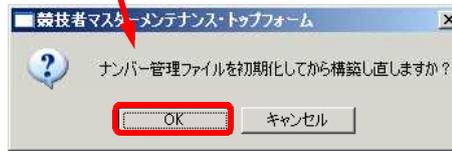
ナンバーカード更新

※中学生の大会など、同一ナンバーカードの競技者が10名以上いる場合は実行できません。

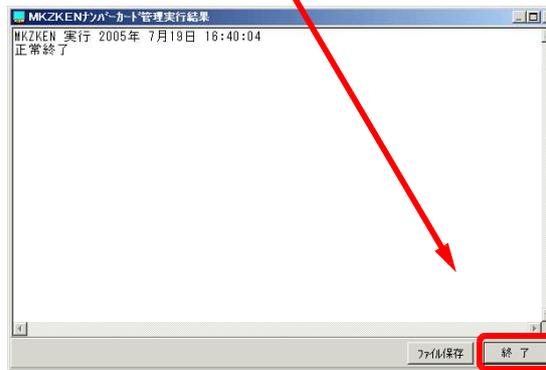
- 1) 競技者マスターメンテナンス・トップフォームを表示します。
- 2) 《編集》メニューから《ナンバーカード更新》を選択します。



- 3) 「ナンバー管理ファイルを初期化してから構築し直しますか?」というナンバー管理ファイルの再構築を確認するメッセージが表示されますので、《OK》をクリックします。

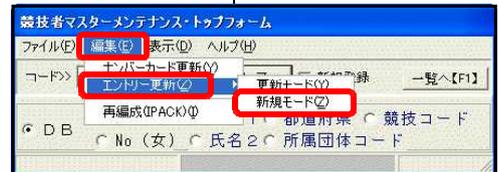


- 4) ナンバーカード管理実行結果レポートが表示されます。
《終了》ボタンをクリックしてレポートを閉じます。



エントリー更新

- 1) 競技者マスターメンテナンス・トップフォームを表示します。
- 2) 《編集》メニューから《エントリー更新》を選択します。
- 3) エントリー更新を選択すると、「更新モード」と「新規モード」が表示されます。



モード	機能・使用時期
更新モード	この競技会データの作成において、一度でも新規モードを実行したあとにCSV形式ファイルによる選手の追加、番組編成中・終了後のCSVデータからの選手追加の場合にこちらを実行してください。(ENTファイルの中身はクリアされません。)
新規モード	競技者マスターCSV形式ファイルをこの競技会データ作成において初めて読み込んだ後にはこちらを選択して実行してください。 (ENTファイルの中身が初期化されたあとにエントリー更新が実施されます。番組編成情報がすべて消えてしまいます。)

- 4) 更新が終了したら、競技者マスターメンテナンス・トップメニューを終了します。
《終了》ボタンをクリックして下さい。



【Ctrl+F12】終了



4. 混成競技資格記録CSVデータのインポート

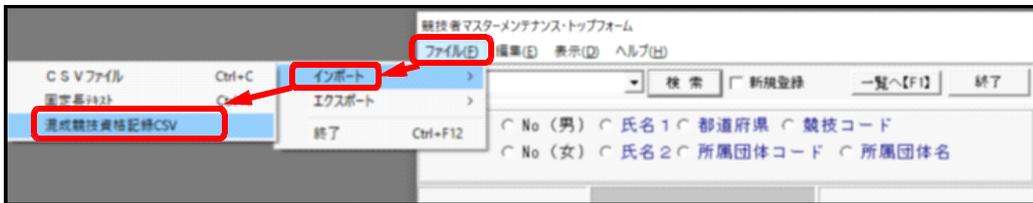
この操作を実施する前に、必ず、所属・競技者の各マスターがインポートされ、エントリー更新が実施されている必要があります。

混成競技資格記録を読み込みたい場合のみこの操作は実施します。



- 1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。
- 2) 《1. 競技者マスター》を起動します。競技者マスターメンテナンスストップフォームが表示されます。

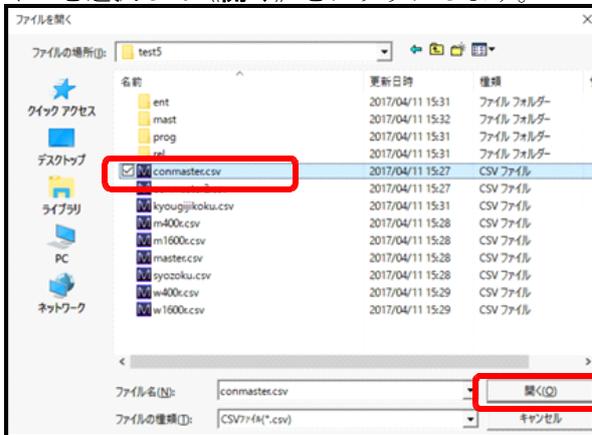
【F1】 マスターメンテナンス
【1】 + 【Enter】 競技者マスター



- 3) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》 - 《混成競技資格記録CSV》を選択します。

【Ctrl + C】 CSVファイルインポート

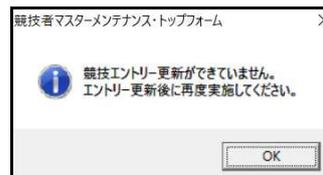
- 4) ファイルを開くウィンドウが表示されたら、作成した混成競技資格記録CSVファイルを選択して《開く》をクリックします。



正常に読込が終了すると「何競技、何人の参考記録を更新しました。」というメッセージが表示されますのでOKを押すと競技者マスターメンテナンス画面に戻ります。

【チェックポイント1】

右のような表示が出たら、競技者マスターCSVインポート後にエントリー更新ができていない事を示しています。
【編集】 - 【エントリー更新】 からエントリー更新を実施してから再度読み込みを実施して下さい。



【チェックポイント2】

読込終了後、混成競技に出場している選手を検索して個々の種目の記録等が登録されているか確認することができます。



Ⅲ. CSVデータのインポート

5. リレーエントリー

リレー競技ごとにリレーマスターCSVファイルをインポートします。

1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。



【F1】 マスターメンテナンス

2) 《8. リレーエントリー》をクリックし、起動します。



【8】 + 【Enter】
リレーエントリー

3) リレーエントリーメイン画面が表示されたら、「リレー選択」欄のプルダウン(▼)から、これからデータをインポートしようとしているリレー競技を選択し《OK》をクリックします。



4) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》 - 《CSVファイル》を選択します。リレー系マスターファイルが縦形式の場合は《縦組CSVファイル》を選択します。

【Ctrl】 + 【C】
CSVファイルインポート



5) インポートファイル指定ウインドウが表示されたら、作成したリレー系マスターファイルを選択し、《開く》をクリックします。



インポートするファイル名をクリックして《開く》

6) リレーチームとメンバーが一括してセットされます。

7) 画面右上の《End EditTEAM》ボタンをクリックし、このリレー競技の処理を終了します。

保存して終了
【Ctrl】 + 【S】
EndEditTEAM

8) 他にリレー競技がある場合は、同様の操作でリレー系マスターをインポートして下さい。

9) すべてのリレー競技のデータがインポートできたら、

《EXIT》ボタンをクリックしてリレーエントリーを終了します。

【Ctrl+F12】 終了

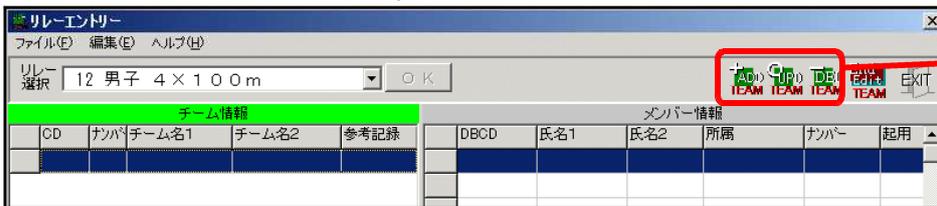


セットされる



※リレーエントリーの直接編集

- 1) リレーエントリーの「リレー選択」欄から、編集しようとしているリレー競技を選択し《OK》をクリックします。



TEAM操作ボタン

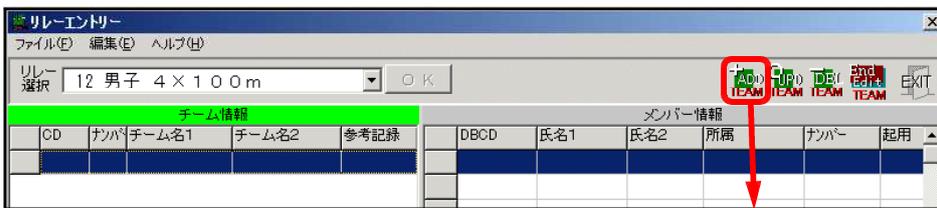
「TEAM操作ボタン」について

- ・ **ADD TEAM** … チームを追加します。
- ・ **UPD TEAM** … 登録済みのチーム情報を編集します。
- ・ **DEL TEAM** … 登録済みのチームを削除します。

【Insert】 ADD TEAM
【F 2】 UPD TEAM
【Delete】 DEL TEAM

- 2) チームの登録

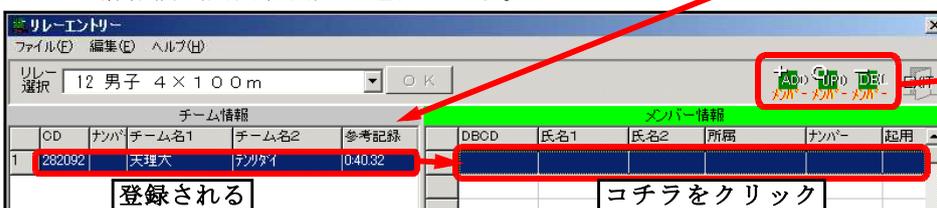
- ① チーム情報欄（画面左側）を選択し、《ADD TEAM》ボタンをクリックします。



- ② リレーチームフォームが表示されます。チームコード、チームナンバー（省略可）チーム名、参考記録を入力し、《OK》ボタンをクリックして登録します。



- ③ メンバー情報欄（画面右側）を選択します。



メンバー操作ボタン

「メンバー操作ボタン」について

- ・ **ADD メンバー** … メンバー（選手）を追加します。
- ・ **UPD メンバー** … 登録済みのメンバー情報を編集します。
- ・ **DEL メンバー** … 登録済みのメンバーを削除します。

【Insert】 ADDメンバー
【F 2】 UPDメンバー
【Delete】 DELメンバー

- ④ メンバー操作ボタンの《ADD メンバー》をクリックします。



【Insert】 ADDメンバー

- ⑤ 競技者検索ウィンドウが表示されるので、DBコード、氏名、ナンバーなどで登録したい選手を検索し、《OK》をクリックして登録します。



- ⑥ ④、⑤の操作を繰り返し、メンバー全員を登録してください。

- ⑦ 編集や削除は、編集または削除したいメンバーを選択し、《UPD メンバー》または《DEL メンバー》ボタンをクリックします。

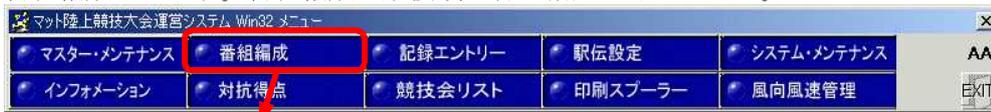
- ⑧ 終了するときには、《EndEditTEAM》ボタンをクリックして終了します。

【Ctrl+S】 終了



Ⅳ. 番組編成

番組編成をします。番組編成の競技順に特に指定はありません。



- 1) 《番組編成》をクリックします。
- 2) 《1. 番組編成》を起動します。
番組編成メイン画面が表示されます。

【F 2】 番組編成
【1】 + 【Enter】
番組編成



- 3) これから番組編成を行うレースを選択します。
《競技選択》のプルダウン《▼》をクリックして競技を選択し、《レース選択》プルダウンから作成したいレースを選択します。
例) 男子100m予選の番組編成をする場合。

【↑】【↓】 選択
【Tab】 項目間移動



例) 男子5000m決勝の番組編成をする場合。



↑レース選択で「決勝」を選択したとき、前レースは「決勝のみ」を選択。
例) 男子1500mタイムレース決勝の番組編成をする場合。



↑レース選択の「決勝」は必ず1組となります。そのため、タイムレース決勝であっても複数組実施する場合は、「予選」を選択してください。
※番組編成に関する印刷物を印刷したくない場合は、「印刷する。」チェックボックスのチェックをはずしてください。

- 4) 選択した競技が、セパレートコースで行われる競技の場合、《配置開始》レーン選択ボックスから選手を配置するレーンを選択します。
1レーンから選手を配置 → 「1～8レーン」を選択
2レーンから選手を配置 → 「2～9レーン」を選択

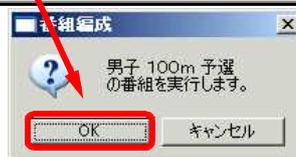


- 5) 《決定》ボタンをクリックします。

【Alt+Enter】 決定



確認のメッセージが表示されます。
《OK》をクリックします。



- 6) エントリー競技者のチェックウインドウが表示されます。エントリー人数と資格記録に桁ずれがないか確認してください。

《OK》ボタンをクリックします。

また、デイリープログラムの作成時などデータインポート後に出場を取り消す競技者がいた場合は、該当競技者の右端「出/欠場」欄で「1-欠場」を選択すると、エントリーを取り消すことができます。

注) ここで「欠場」を選択すると、エントリーから削除されるとともに競技者マスターの出場競技登録からも削除されます。ネットワークでこの作業を実行した場合は、競技者マスターが変更されていますので、サーバーへマスターコピーしておく必要があります。

Sq	No	氏名	所属	資格記録	資格値	記録順位	Rel	出/欠場
1	88	古川 達摩	滋 賀・近畿工業大	10.31	1031	1	1	
2	88	松村 慎也	京 都・大原RC	10.36	1036	2	2	
3	90	坂下 泰弘	茨 城・水戸AC	10.36	1036	2	3	
4	97	石田 尚人	滋 賀・東高津高	10.47	1047	4	4	
5	237	吉川 就介	京 都・大原RC	10.49	1049	5	5	
6	523	田中 裕之	大 阪・大阪スポーツ大	10.49	1049	5	6	
7	816	山口 孝太朗	奈 良・近畿外国語大	10.50	1050	7	7	
8	1001	矢川 陽介	和歌山・堺国際大	10.52	1052	8	8	
9	542	原田 直樹	大 阪・丸山AC	10.52	1052	8	10	

Sq	No	氏名	所属	資格記録	資格値	記録順位	Rel	出/欠場
1	88	古川 達摩	滋 賀・近畿工業大	10.31	1031	1	1	
2	88	松村 慎也	京 都・大原RC	10.36	1036	2	2	0-出場
3	90	坂下 泰弘	茨 城・水戸AC	10.36	1036	2	3	1-欠場

- 7) 番組編成に必要な情報を入力します。

出場人数を確認。

審判長名、記録主任名を入力。
(不明な場合は省略可能)

測定区分の変更
トラック競技を電気計時行う場合は「01-電計1/100秒」を、手動計時で行う場合は「02-手動1/10秒」を選択します。

組数、進出条件を入力。
「タイムレース」という表現を付けたい場合はここにチェックを付ける。

レース日時を入力。
競技者マスターデータに組・レーン/オーダーを登録した場合はチェックを付ける。

入力が完了したら《OK》をクリックします。
番組編成を取り消す場合は《キャンセル》をクリックします。

記録会モードについて
「組記録昇順」にチェックを付けると、資格記録の良い競技者から順に前の組から配置された組み分けになります。
「組記録降順」にチェックを付けると、資格記録の悪い競技者から順に前の組から配置された組み分けになります。

【Tab】項目間移動

この他の測定区分

- 道路競技用
- 03-手動1/1秒
- 障害者大会用
- 11-電計1/100秒風個別
- 12-手動1/10秒風個別
- フィールド試技数を限定
- 05-フィールド (1回)
- 06-フィールド (2回)
- 07-フィールド (3回)

【Alt+Enter】OK
【ESC】キャンセル

- 8) 「進出チェックリスト」、「仮組分けリスト」を出力するかどうか確認のメッセージが表示されます。通常《OK》をクリックします。リストが不要な場合は《キャンセル》をクリックします。

進出チェックリスト … エントリー競技者を記録の良い順に並べたリスト
仮組み分けリスト … 資格記録をもとにコンピュータが組分けしたリスト

通常使うプリンタに指定されているプリンタから印刷されます。

- 9) 資格記録をもとにコンピュータが自動的に組分けを行い、組分けされた結果が表示されます。この画面ではマニュアル操作によって組分けを変更することができます。自動番組を行った場合は、あらかじめ指定した組・レーン/オーダー順になります。

1組 (8人)					2組 (8人)						
Sq	No	氏名	所属	記録	順	Sq	No	氏名	所属	記録	順
1	76	飯島 和夫	滋 賀・近江クラブ	10.54	10	2	1004	西田 勇太	和歌山・白浜SC	10.59	18
2	542	原田 直樹	大 阪・丸山AC	10.52	8	3	58	高田 恵	滋 賀・大阪経済大	10.56	12
4	1024	佐藤 亮	和歌山・北大阪大	10.63	21	4	816	山口 孝太朗	奈 良・近畿外国語大	10.50	7
5	90	坂下 泰弘	茨 城・水戸AC	10.36	2	5	88	古川 達摩	滋 賀・近畿工業大	10.31	1
6	87	山田 太郎	滋 賀・大原RC	10.58	15	6	523	田中 裕之	大 阪・大阪スポーツ大	10.49	5
7	97	石田 尚人	滋 賀・東高津高	10.47	4	7	245	三上 拓也	京 都・堺国際大	10.56	12
8	679	渡辺 大介	兵 庫・関東大	10.4	22	8	1003	田中 智也	和歌山・堺国際大	10.59	18
9	242	藤田 良輔	京 都・二条クラブ	10.58	15	9	55	佐藤 耕平	高 知・土佐RAC	10.84	24
10						10					



Ⅲ. CSVデータのインポート

・マニュアル変更操作手順

例) 1組7レーンと2組4レーンを入れ替える場合

【↑】【↓】 選択
【F1】 マーキング
【F3】 置換

例) 現在表示されていない組を表示したい場合

ここが緑色の組が現在選択中の組です。この図では2組が選択されています。

組の番号をクリックすることで表示される組が変わります。表示が変わるのは、現在選択中の組（この図では2組のところ）が変更になります。

「R」はどの組にも割当てられていない選手が格納されている組になります。「R」に選手を移す場合は、移したい選手を《マーク》して《移動》や《置換》で不要な選手を番組から除外しておくことができます。《削除》をクリックした場合はこの「R」組に移動します。

【F5】 組変更
【←】【→】 組間移動
【F1】 マーキング
【F2】 移動
【F3】 置換
【F4】 削除

操作ボタンの説明

- 《マーク》 移動もしくは入れ替えたい選手をマークします。
- 《移動》 マークした選手を任意のところに移動します。
- 《置換》 マークした選手と入れ替えたい選手を置換します。
- 《削除》 マークした選手を「R」組へ移動させ、番組から削除します。
- 《検索》 検索条件を設定し、選手を検索します。
- 《同所印刷》 同所属の分散状態を表示／印刷します。
- 《組分リスト》 現時点の仮組分けリストを印刷します。
- 《番組情報》 番組情報（進出条件、日時、審判名など）を編集します。

【F1】 マーク
【F2】 移動
【F3】 置換
【F4】 削除
【F7】 検索
【F9】 同所印刷
【F8】 組分リスト
【F10】 番組情報

マウスで右クリックし、右図のようなサブメニューを表示すると、操作ボタン同様の操作に加えて以下の操作ができます。

- 《挿入 (INS)》 選択中の選手の下に1行挿入し、以降の選手のレーン（オーダー）が1つずれます。
- 《削除 (DEL)》 選択中の選手の配置されていない行を1行削除します。

マーク (F1)
移動 (F2)
置換 (F3)
組選択 (F5)
挿入 (INS)
削除 (DEL)

【Insert】 行挿入
【Delete】 行削除



・同所属の確認と同所属リストの印刷

所属団体および都道府県の組ごとの分散状況を確認することができます。
注) 同一所属の選手が11名以上いる場合はこの機能は使えません。

【F9】同所印刷

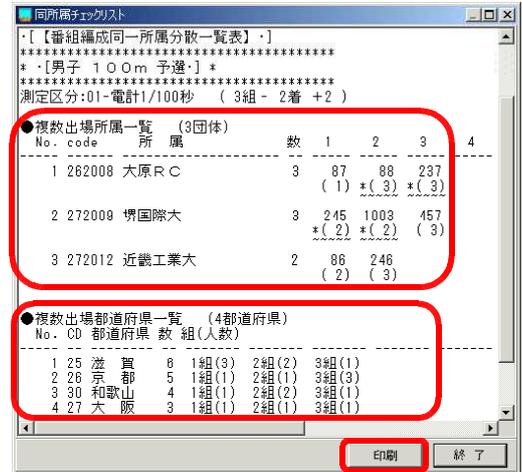


- ① 《同所印刷》ボタンをクリックします。
- ② 出力確認メッセージが表示されたら、《OK》をクリックします。
- ③ 「同所属チェックリスト」画面を表示します。

●複数出場所属一覧

同一所属団体の選手が2名以上出場している場合に表示されます。波線の付いた組で所属が重複しています。右図の例では、

- 「大原RC」 3名出場
No. 87が1組、No. 88とNo. 237が3組で重複
- 「堺国際大」 3名出場
No. 245とNo. 1003が1組で重複、No. 457が3組
- 「近畿工業大」 2名出場
No. 86が2組、No. 246が3組に配置(重複なし)



●複数出場都道府県一覧

同一都道府県の選手が組別に何名ずつ出場しているかを把握することができます。

学校対抗、クラブ対抗、都道府県対抗などの競技会の場合、同一所属の選手が同一組に重ならないように、このリストを参考にしてマニュアル操作でレーン配置を変更してください。

マニュアル操作で配置を変更した後は、もう一度《同所印刷》ボタンをクリックして重複を確認してください。

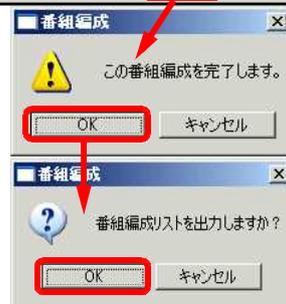
- ④ 《印刷》ボタンをクリックするとこのリストを印刷することができます。

10) マニュアル操作による組み分けを終了し、番組編成を完了します。



《完了》ボタンをクリックします。
番組編成完了確認メッセージが表示されるので《OK》ボタンをクリックします。
さらに、番組編成リストを出力するかどうかの確認メッセージが表示されるので《OK》をクリックして番組編成リストを印刷します。

番組編成メイン画面に戻ったら、次のレースの番組編成を行います。



【Alt+Enter】完了

【Enter】OK

・審判長一括設定

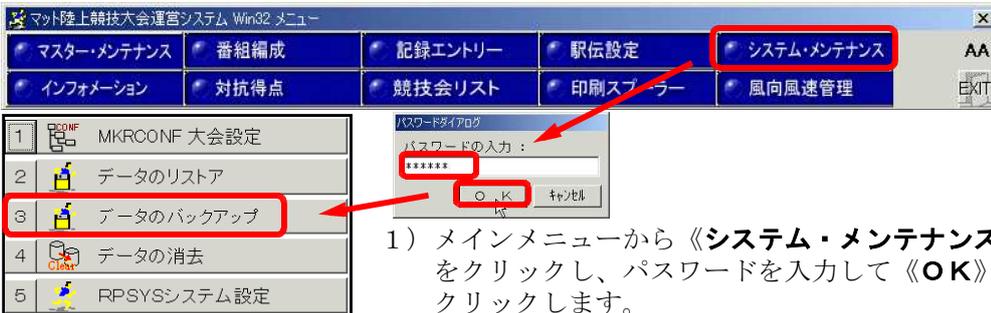
番組編成の際に、審判長や記録主任がまだ決まっていない場合、番組編成終了後一括して登録することができます。登録された審判長、記録主任名は大会中に出力される各リストに印字されます。

- ① メインメニューの《番組編成》－《2. 審判長一括設定ツール》を起動します。
- ② 右の画面が表示されたら、審判長や記録主任の名前を氏名の欄に入力します。審判長については、コードの欄に入力されている種目のみに対して設定されます。
- ③ 入力が終了したら、登録したい審判長または記録主任を選択します。選択は、「選択」欄をクリックすることで《●》をつけます。
- ④ 画面左下の《実行》ボタンをクリックすると登録されます。
- ⑤ 終了後、画面右下の《終了》をクリックし、メニューに戻ります。



V. データのバックアップ

ここまでの作業が完了したら、この陸上システムデータのバックアップをとっておきます。大会当日は、このバックアップファイルからデータをサーバにリストア（復元）して使用して下さい。



1) メインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。

【F 5】システムメンテナンス

2) システムメンテナンスメニューから《3. データのバックアップ》をクリックします。

【3】 + 【Enter】

データのバックアップ

3) バックアップに関する設定をします。

①バックアップ元を指定します。

このデータは「C:¥\$¥\$¥」に作成していましたので「C:¥\$¥\$¥」を選択します。



②バックアップ形式を指定します。今回はL Z H形式を選択。

・データ形式…「C:¥\$¥\$¥」にあるMAST、ENT、REL、PROG、TOKUTENの各フォルダをそのままコピーします。

・L Z H形式…L Z H形式で圧縮します。



③バックアップ先（保存先）を指定します。

今回は同一フォルダに保存するので「C:¥\$¥\$¥」を選びます。《参照》ボタンをクリックすると、ここに表示されている保存先以外の場所も指定できます。

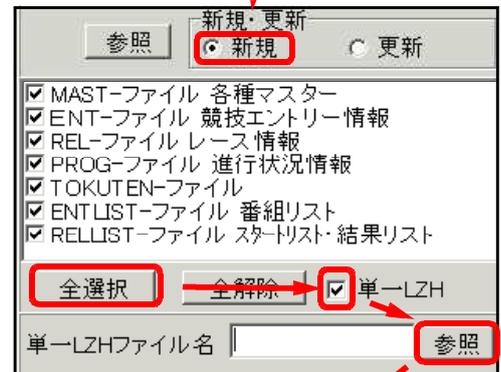
④バックアップファイルを新しく作成するか、すでに存在するバックアップファイルに更新されたものだけを新たにバックアップするかを選択します。

通常は《新規》を選択します。

⑤どのファイルのバックアップをとるか選択します。

通常は《全選択》ボタンをクリックしてすべてのファイルをバックアップします。

- ・MASTファイル …競技者、所属団体、個定情報、競技などの各マスターファイル
- ・ENTファイル …競技別エントリー情報データファイル (ent*.dat)
- ・RELファイル …レース情報（レーン順、記録等）関係データファイル (rel*.dat)
- ・PROGファイル …進行状況・気象情報データファイル
- ・TOKUTENファイル…対抗得点関係ファイル
- ・ENTLISTファイル…番組編成関係リストファイル
- ・RELLISTファイル…スタートリスト、記録・結果リスト



⑥バックアップ形式で「L Z H形式」を選択した場合は、MAST・ENT・REL・PROGなどの種類ごとに圧縮ファイルを作成するか、すべてを一つの圧縮ファイル（単一）にするかを選択することができます。

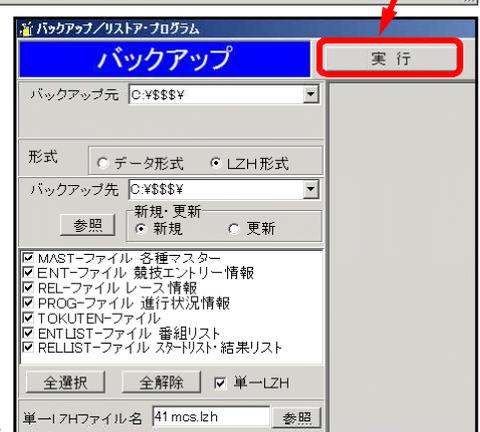
「単一」で実行しておけば、必要なファイルがバラバラになることはないので、できるだけ単一で実行して下さい。

《単一L Z H》チェックボックスにチェックを付けると、単一L Z Hファイル名を入力する欄と参照ボタンが表示されます。《参照》ボタンをクリックし、任意のファイル名を入力して、《保存》ボタンをクリックします。



4) 設定完了後《実行》ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

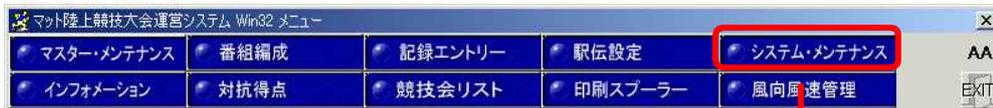
「バックアップ処理完了。」のメッセージが表示されたら、《終了》ボタンをクリックしてバックアップを終了して下さい。



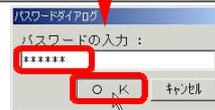
VI. サーバにデータをセット（リストア）する

データ作成でバックアップしたファイルをサーバにセットします。

- 1) 競技場のネットワーク装置とサーバを起動します。
- 2) データをセットするためのコンピュータを起動し、競技場のネットワークにログインします。(個人所有のコンピュータの場合、ネットワークドライブの割り当てを忘れずに行ってください。)
- 3) セットするデータを用意します。USBメモリやフロッピーディスクに保存してある場合は、ここでコンピュータに挿入します。



- 4) 陸上システムメインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックしパスワードを入力します。



【F5】システムメンテナンス

- 5) システムメンテナンスメニューから《2. データのリストア》をクリックします。



- 6) リストアに関する設定をします。

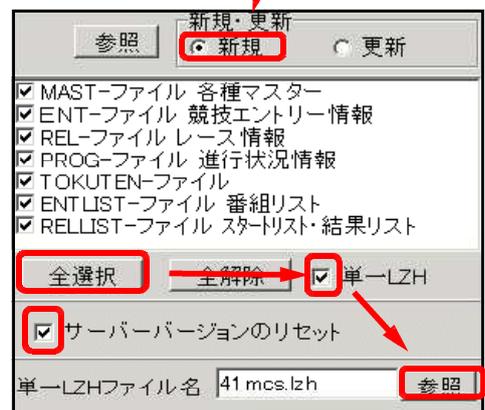
- ① **リストア元のフォルダを指定**します。
セットするデータが保存してある場所をプルダウン(▼)から選択します。この中がない場合は、《参照》ボタンをクリックし場所を指定してください。



- ② **リストアするデータの形式を選択**します。
バックアップしたデータが圧縮ファイルなら「LZH形式」を、圧縮していないなら「データ形式」を選択してください。



- ③ **リストア先を指定**します。
リストア先はサーバになりますので通常は「F:¥」を選択して下さい。このリストア先は「ネットワークドライブの割り当て」で割り当てられるドライブ名を何にするかによって変わります。プルダウン(▼)に適切なリストア先が無い場合は《参照》ボタンをクリックして場所を指定して下さい。



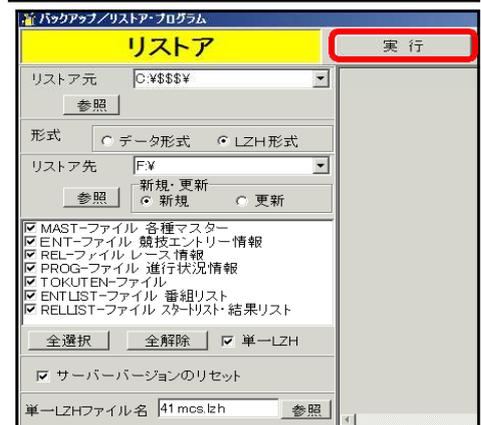
- ④ **リストアを新規に実行するか、既に存在するデータに更新されたものだけを新たにリストアするかを選択**します。
「新規」は今サーバにセットされているデータを削除してからリストアします。
「更新」は今サーバにセットされているデータより新しいものだけをリストアします。
通常は《新規》を選択してください。

- ⑤ **リストアするファイルを選択**します。通常は《全選択》ボタンをクリックしてすべてのファイルをリストアしてください。ある特定のファイルのみリストアしたい場合は、リストアしたいファイルの□欄にチェックを付けてください。

- ⑥ リストアするファイルの形式で「LZH形式」を選択した場合は、LZHファイルが「単一」であれば「単一LZH」チェックボックスにチェックを付け、《参照》ボタンをクリックして単一LZHファイルを選択して下さい。

- ⑦ 最後に、「サーバーバージョンのリセット」にチェックを付け、《実行》ボタンをクリックします。リストアが開始され、終了すると「リストア処理完了」とメッセージが表示されます。

- 7) 《終了》ボタンをクリックしてリストアを終了して下さい。



VII. 資料

・基本種目コード一覧（2019年2月1日現在）

※種目コードは《マスターメンテナンス》の《種目マスター》で確認することができます。

種目マスターの内容は、大会データ・バックアップデータごとに異なるものです。特殊な種目などを追加している場合がありますので、必ずしもこのコードに変更する必要はありません。現在お使いの種目マスター・種目コードのままでも問題ありません。あくまでも基本種目コードです。

※ただし混成競技の種目コードは得点計算との関係がありますのでここで示すコードを必ずお使い下さい。

【トラック競技】		【フィールド競技】	
50m	4 2 1	走高跳	0 7 1
60m	0 0 1	棒高跳	0 7 2
100m	0 0 2	走幅跳	0 7 3
150m	4 2 2	三段跳	0 7 4
200m	0 0 3	二段跳	4 7 3
300m	0 0 4	四段跳	4 7 4
400m	0 0 5	立幅跳	4 7 8
600m	0 5 0	立三段跳	4 7 9
800m	0 0 6	砲丸投 [男一] (7.260kg)	0 8 1
1000m	0 0 7	砲丸投 [男高Jr] (6.000kg)	0 8 2
1500m	0 0 8	砲丸投 [男中] (5.000kg)	0 8 3
2000m	0 0 9	砲丸投 [女一高Jrユ] (4.000kg)	0 8 4
3000m	0 1 0	砲丸投 [女中] (2.721kg)	0 8 5
5000m	0 1 1	円盤投 [男一] (2.000kg)	0 8 6
10000m	0 1 2	円盤投 [男高ユ] (1.750kg)	0 8 7
15000m	0 1 3	円盤投 [女一高Jrユ] (1.000kg)	0 8 8
20000m	0 1 4	ハンマー投 [男一] (7.260kg)	0 8 9
1マイル	0 1 8	ハンマー投 [男高Jr] (6.000kg)	0 9 1
60mH [小] (0.6m/6m)	4 2 8	やり投 [男一高Jr] (0.800kg)	0 9 2
80mH [小] (0.7m/7m)	4 2 9	やり投 [女] (0.600kg)	0 9 3
110mH [男中ユ] (0.914m)	0 3 2	ハンマー投 [女] (4.000kg)	0 9 4
110mH [男Jr] (0.991m)	0 3 3	円盤投 [男ユ] (1.500kg)	0 9 6
110mH [男一高] (1.067m)	0 3 4	ハンマー投 [男ユ] (5.000kg)	0 9 7
200mH [男] (0.762m)	0 3 5	やり投 [男ユ] (0.700kg)	0 9 8
400mH [男] (0.762m)	0 3 6	ジャベリックロー	0 9 9
400mH [男一高Jr] (0.914m)	0 3 7	ジャベリックボール投	4 9 4
80mH [女]	0 4 1	ソフトボール投	4 9 5
100mH [女中ユ] (0.762m)	0 4 2	ハンドボール投	4 9 6
100mH [女一高] (0.838m)	0 4 4	ピッチャック投	4 9 7
200mH [女] (0.762m)	0 4 5	こん棒投	4 9 8
400mH [女一高ユ] (0.762m)	0 4 6	ウォータークス投	4 9 9
300mH [女] (0.762m/35m)	0 4 7		
2000mSC [男] (0.914m)	0 5 1		
2000mSC [女] (0.762m)	0 5 2		
3000mSC [男] (0.914m)	0 5 3		
3000mSC [女] (0.762m)	0 5 4		
3000mW	0 6 0		
5000mW	0 6 1		
10000mW	0 6 2		
20000mW	0 6 3		
30000mW	0 6 4		
50000mW	0 6 5		
4x100m	6 0 1		
4x200m	6 0 2		
4x400m	6 0 3		
4x800m	6 0 4		
100m+200m+300m+400m	6 0 6		
4x1500m	6 1 1		
8x100m	6 9 1		
6x100m	6 9 6		

凡例	[男]男子	[女]女子	
	[一]一般	[高]高校	[Jr]U20
	[中]中学	[ユ]U18	[小]小学

注：室内種目コードについてはお問い合わせ下さい



【混成競技】

十種競技 [男]	2 0 1
(100m, 走幅跳, 砲丸投, 走高跳, 400m, 110mH, 円盤投, 棒高跳, やり投, 1500m)	
七種競技	2 0 2
(100mH, 走高跳, 砲丸投, 200m, 走幅跳, やり投, 800m)	
五種競技	2 0 3
(走幅跳, やり投, 200m, 円盤投, 1500m)	
三種競技 A [男]	2 0 6
(100m, 砲丸投, 走高跳)	
三種競技 B [男]	2 0 7
(砲丸投, 走幅跳, 400m)	
三種競技 A [女]	2 0 8
(走高跳, 100m, 砲丸投)	
三種競技 B [女]	2 0 9
(走幅跳, 砲丸投, 100mH)	
八種競技	2 1 0
(100m, 走幅跳, 砲丸投, 400m, 110mH, やり投, 走高跳, 1500m)	
四種競技 [男]	2 1 3
(110mH, 砲丸投, 走高跳, 400m)	
四種競技 [女]	2 1 4
(100mH, 走高跳, 砲丸投, 200m)	
スプリントトライアスロン [男]	2 1 5
(100m, 200m, 400m)	
スプリントトライアスロン [女]	2 1 6
(100m, 200m, 400m)	
十種競技 [女]	2 2 1
(100m, 円盤投, 棒高跳, やり投, 400m, 100mH, 走幅跳, 砲丸投, 走高跳, 1500m)	

【道路競技】

10マイル	1 0 1
10km	1 0 2
20km	1 0 3
30km	1 0 4
35km	1 0 5
マラソン	1 0 6
ハーフマラソン	1 0 7
5km競歩	1 5 1
10km競歩	1 5 2
15km競歩	1 5 3
20km競歩	1 5 4
30km競歩	1 5 5
50km競歩	1 5 6
クロスカントリー (12km)	1 6 1
クロスカントリー (10km)	1 6 2
クロスカントリー (8km)	1 6 3
クロスカントリー (5km)	1 6 4
クロスカントリー (3km)	1 6 5
クロスカントリー	1 7 1
駅伝	1 7 2



Ⅶ. 資料

